



2025 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 ノバシステム 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 芳 山 政 安
(コード番号：5257 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 加 藤 博 久
(TEL. 06-6479-8100)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

以 上



nova system

think,challenge,advance

ノバシステム株式会社

**資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
(2025年4月30日)**

東証スタンダード 証券コード：5257

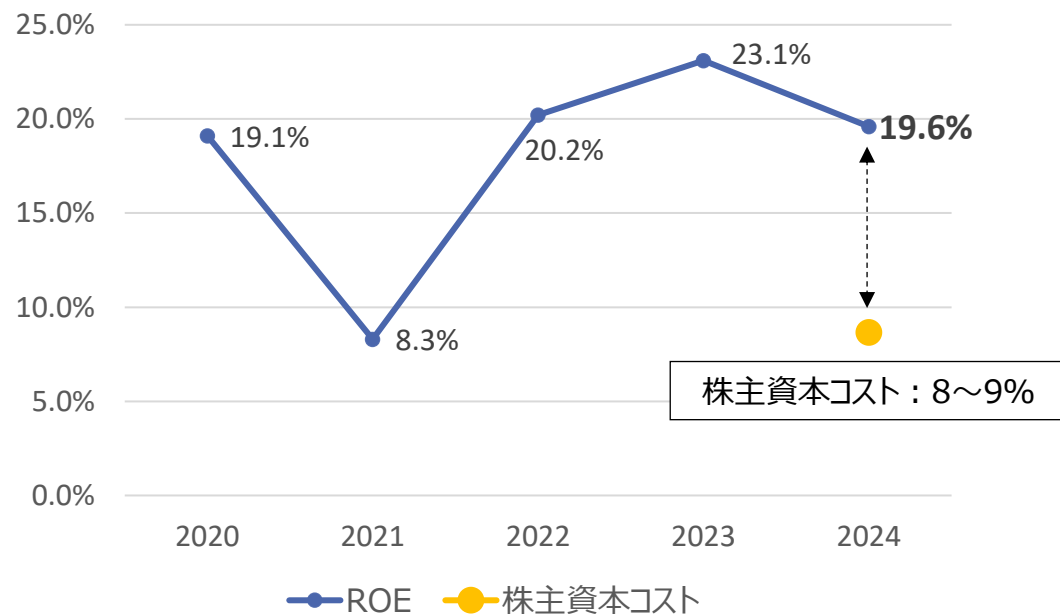
現状分析① 資本コストと資本収益性

当社は、2023年3月30日に東京証券取引所スタンダード市場に新規上場いたしました。

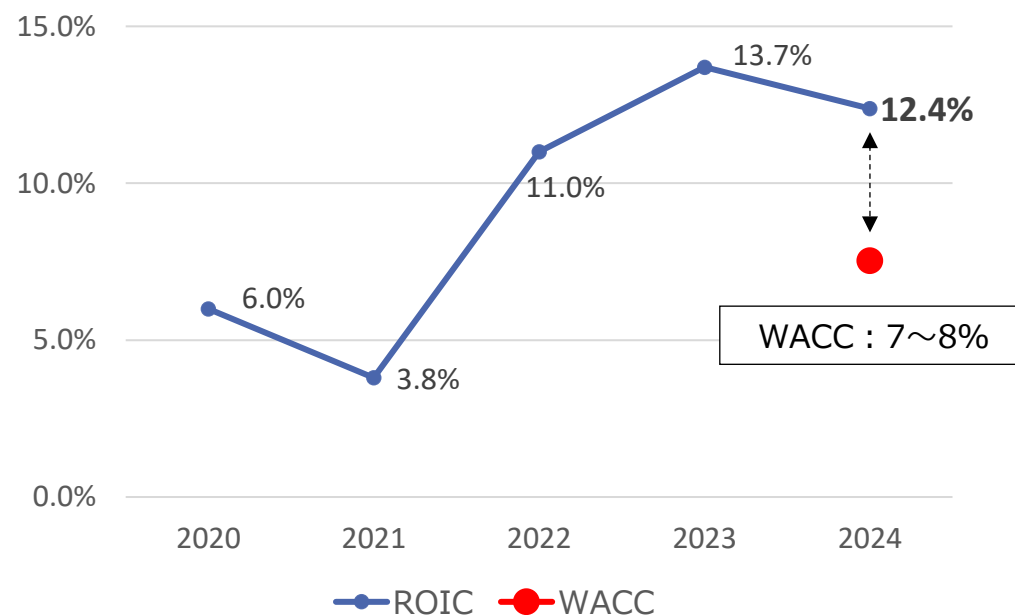
各指標につきましては、当資料発表時点における最新事業年度である2024年12月期の数値を用いて現状分析を行っており、株主資本コストは「8～9%」、負債コストも加味した加重平均資本コストであるWACCは「7～8%」と推定しております。

収益性指標であるROE及びROICとの比較におきまして、いずれも各資本コストを上回っておりますが、P.4～6に記載の改善に向けた対応（方針、数値目標、計画期間、具体的取組）を通じて、更なる資本収益性の向上に努めてまいります。

➤ ROE > 株主資本コスト



➤ ROIC > WACC

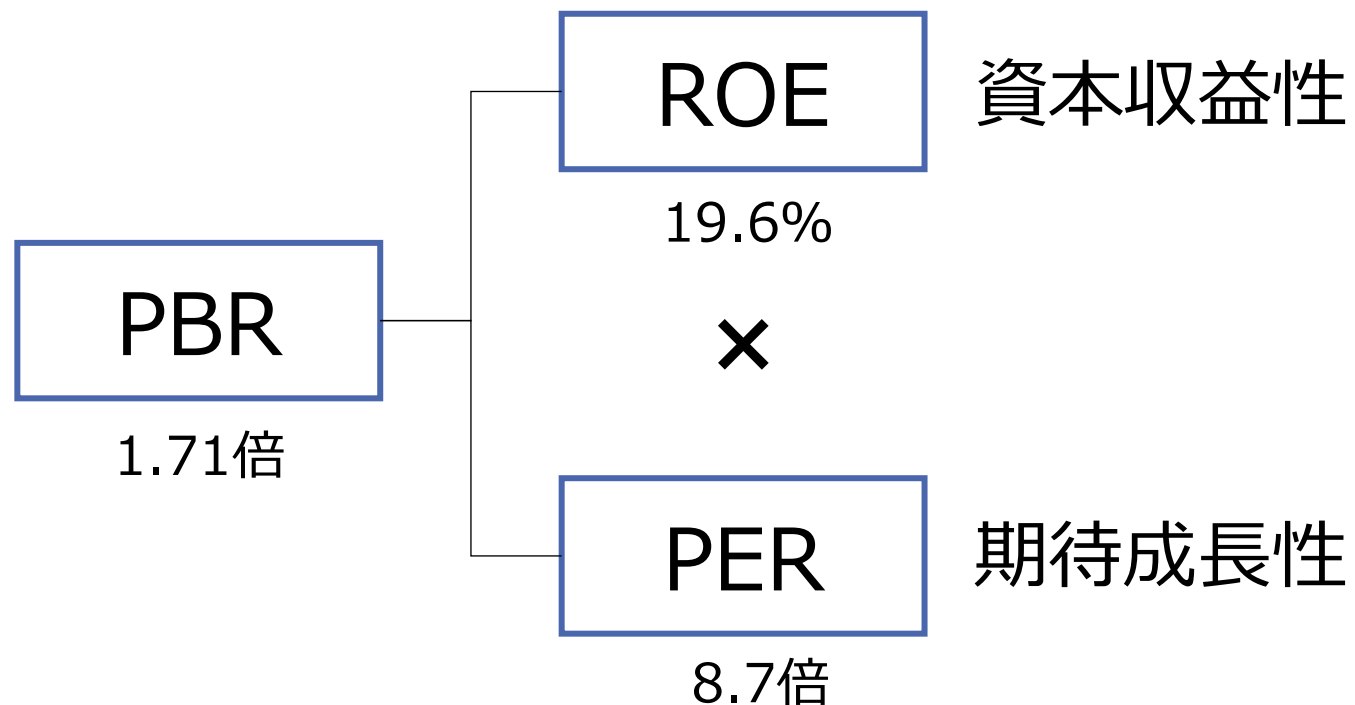


■ ROIC : 投下資本利益率 税引後営業利益 ÷ (株主資本 + 有利子負債)

現状分析② PBR分解

各指標の算出に当たっては、2024年12月期の実績に基づき、以下の数値を用いております。

- PBR 株価：2024年12月30日の終値、純資産額：2024年12月期の期首期末平均額、2024年12月期末の発行済株式数
- ROE 純資産額：2024年12月期の期首期末平均額
- PER 株価：2024年12月30日の終値、2024年12月期末の発行済株式数



改善に向けた対応（方針・数値目標・計画期間）

➤ 方針

現状は資本コストを上回る資本収益性を実現しているが、持続的な事業成長と適切な株主還元の両立を図り、更なる資本収益性の向上に努める。

➤ 数値目標

2026年12月期に向けてROE20%以上を目標とする。

➤ 計画期間

2025年12月期 ～ 2026年12月期

改善に向けた対応（相関概要）

より一層の事業活動の推進を通じた業績向上を基として、適切な株主還元策の実施、IR活動の充実化を通じて更なる資本収益性の向上に努めてまいります。

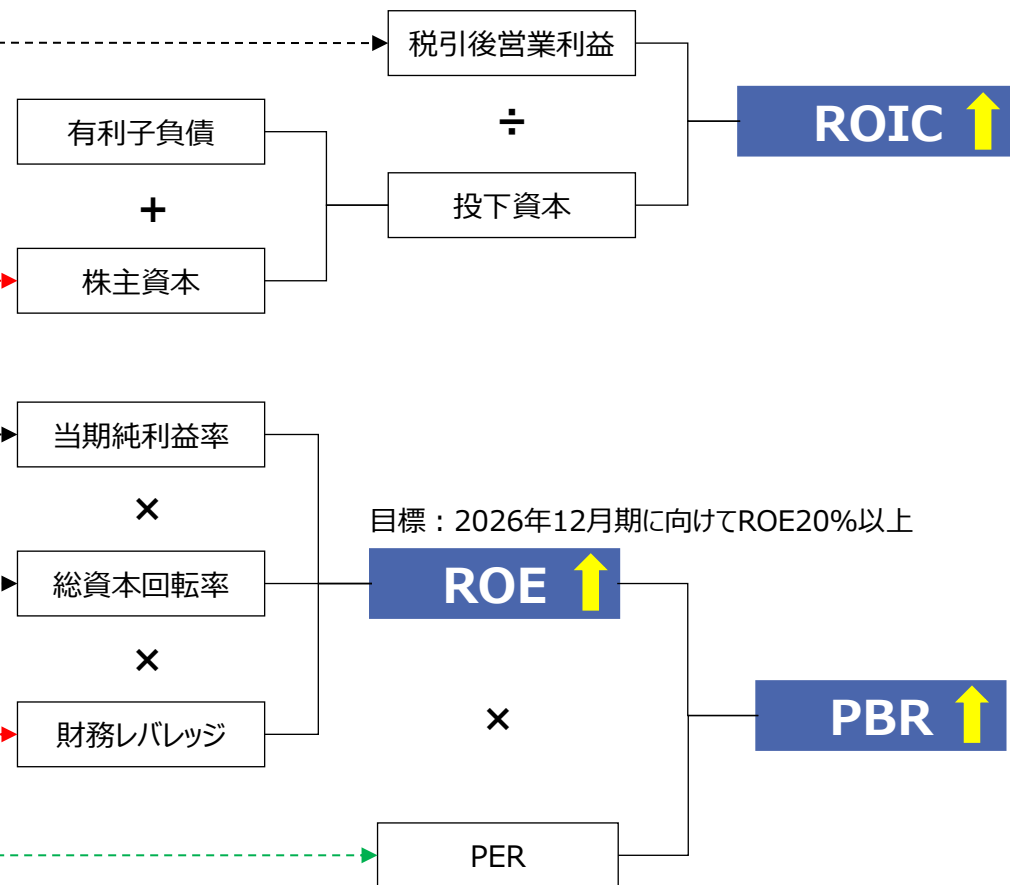
①事業活動の推進：業績向上



②株主還元



③IR活動の充実化



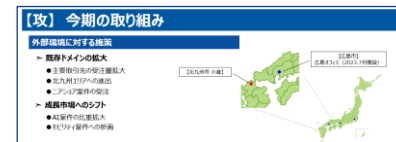
<期待成長性、株式市場からの評価>

改善に向けた対応（具体的取組）

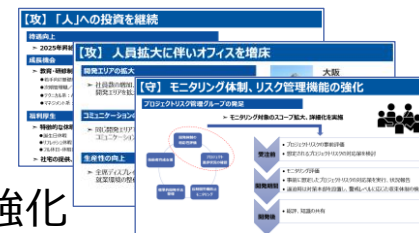
①事業活動の推進：業績向上



- 外部環境に対する施策
 - └ 既存ドメインの拡大
 - └ 成長市場へのシフト



- 内部環境における施策
 - └ 「人」への投資を継続
 - └ 人員拡大に伴うオフィス増床
 - └ モニタリング体制、リスク管理機能の強化



※詳細につきましては、2025年2月13日公表の「2024年12月期決算説明資料」をご参照ください。
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/5257/tdnet/2565990/00.pdf>

②株主還元



- 2025年12月期より：配当開始
- 2025年2月：自己株式の取得
（譲渡制限付株式報酬制度の導入に備えて）
- 中長期的に配当性向50%を標榜

③IR活動の充実化

- 投資家との対話機会の増加
- 開示・発信情報の充実化
- 株主名簿管理人が提供する株主コミュニケーションツールの導入



nova system

think,challenge,advance

ご注意

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の結果等は、今後の様々な要因によって記載内容と異なる場合があります。